

ZEH 申請の苦労話

今年度も始まった ZEH 支援事業。一昨年度の申請事例を振り返る。



若専務: ZEH (ゼッチ) の申請の時は、お世話になりました。やっと、補助対象事業の報告書を提出し、審査が完了してお客様に補助金がおりましたよ。初めてのことが多くて苦労したけど、申請と報告書の作成で手伝ってもらってすごく助かりました。



部長: ZEH の基準は H25 年省エネ基準や低炭素住宅よりも厳しく、●外皮性能 (UA 値) は 0.6 以下 (4-7 地域の場合。省エネ基準では 0.87 以下) とし、●基準一次エネルギー消費量から 20% 以上削減 (低炭素住宅は 10% 以上削減) しなければならない。

また、導入する設備にも制限があって、●暖冷房・給湯・換気・照明に省エネ設備を採用し、●太陽光発電による創エネでネットゼロとし、●HEMS というエネルギー計測装置を設けてエ

ネルギー使用量を「見える化」しないといけない、等々たくさんの決まり事がある、慣れていないと大変だったでしょう。

設計の申請作業は当社がサポートしたけれど、補助対象事業者の報告書は若専務さんの方でやったんですね。現場写真もたくさん撮っていただきましたね。

若専務: ZEH でまず苦労したのが、外皮の断熱性能でした。今まで使っていた断熱材やサッシでは基準値を達成するのが難しかったから、性能をあげたんです。充填断熱だったのですが、断熱材の厚さはなんとか壁の中で納まりました。ガラスも日射取得型にするか日射遮蔽型にするか、方位に合わせて検討しました。

それと高効率な省エネ設備を組み込まないといけなかったので、設計の初期段階から暖冷房設備・給湯設備・換気設備・照明器具をお客様に決めて頂きました。

その結果、設計一次エネルギー消費量を 20% 削減し、最後は太陽光発電の計画でした。ゼロエネルギーを実現するために必要な太陽光パネルを搭載できる屋根の形状にしなければいけないので、デザインと合わせて考えました。

部長: 外皮計算と一次エネルギー消費量の計算を何度もしたね。建築途中でも、下屋の部分の断熱材が納まらなくて、仕様を変えたんだってね。申請と異なってしまうので、再計算して変更届を提出したね。

若専務: 実は、工事完了後に提出する補助対象事業の報告書でも苦労したんです。特に断熱材や設備を設置した時の施工写真なんですけど、うちの若い現場担当は工程写真をちゃんと撮ったことがなくて、提出した写真ではダメだと何度か撮り直しをしたんです。工程が進むと撮れなくなる写真もあるから、苦労しました。床下や小屋裏もぐって撮りなおしたりもしたんですよ。いろいろ勉強になりました。

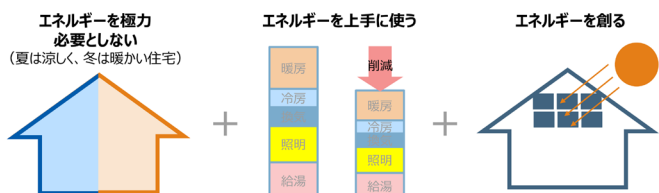


ZEH (ゼッチと読みます) とは、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の略です。住宅の断熱性能と省エネ性能を上げ、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、年間の一次エネルギー消費量 (空調・給湯・照明・換気) が正味「ゼロ」になる住宅、即ち、「使うエネルギー消費量 ≤ 創るエネルギー消費量」となる住宅をいいます。

若専務の言っている「ZEH」は平成 26 年度の補正予算による経済産業省の ZEH 支援事業のことで、この時は補助金が一律 130 万円でした。H28 年度は 4 月 28 日から一次公募が開始されており、補助金は 125 万円となっています。

事業を執行するのは (一社) 環境共創イニシアチブ (略 SII) です。詳しくは HP をご覧ください。https://sii.or.jp/

年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下



? TEC branch は HP にて連載中です。
 答えてほしい疑問などをお寄せ下さい！
 次回は、熊本の地震を考える

東昭エンジニアリング株式会社
 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-20-8 BENEX S-3ビル2階
 TEL: 045-534-7500 FAX: 045-534-7501
 URL: http://www.tosho-engineering.co.jp



構造計算で建築に新しい風を/
TOSHO ENGINEERING